



2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況					
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		<ul style="list-style-type: none"> <li>本計画による駅東西自由通路及び西側道路整備のほかに、同時期に実施した金沢八景駅東口地区土地区画整理事業や金沢シーサイドライン延伸事業の完成により、金沢八景駅周辺地区の歩行者ネットワークの安全確保や利便性の向上が図れたほか、バリアフリー環境を整えることができた</li> <li>金沢八景駅周辺で実施された各事業により、駅利用者や来街者等の満足度が向上した</li> <li>駅周辺のバリアフリー環境が整った結果、駅改札又は東側地区から西側地区（横浜市立大学等）への移動時間が短縮した。</li> </ul>			
II 定量的指標の達成状況	指標①（駅周辺道路のバリアフリー化）	最終目標値	94.1	目標値と実績値に差が出た要因	
		最終実績値	94.1		
	指標②（施設整備による市民満足度）	最終目標値	1.2	目標値と実績値に差が出た要因	金沢八景駅周辺については、長年にわたり、シーサイドラインと京急線の乗換に不便をきたしていたことや、公共施設等の不足など様々な課題があったなかで、当該整備に対する駅利用者等の期待が想定以上に高く、それが高評価につながったものと考えられる。
		最終実績値	1.6		
	指標③（移動時間の短縮）	最終目標値	0.7	目標値と実績値に差が出た要因	
		最終実績値	0.7		
		最終目標値		目標値と実績値に差が出た要因	
		最終実績値			
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)		<p>駅勢圏居住者や来街者に対するアンケート調査を行った結果、75%以上の方から、高評価を得ることができた。特に、駅東西間の移動や乗換の利便性向上、安全に歩行できるようになったこと等について、多くの方から評価を頂いた。また、駅東西自由通路に設けた地図情報等の案内板について評価を頂く意見も見られた。</p>			
3. 学識経験者の意見					
<p>駅周辺の施設整備により歩行者ネットワークの快適性が向上し、バリアフリー環境も整い、駅利用者から高評価を得られる意義のある事業となった。計画の指標については、市民にわかりやすいように設定時から検討する必要がある。施設完成後に、利用者動線の円滑性、駅前広場回り空間の効果的な活用が実現できるよう、今後の調整が望まれる。駅前広場内および国道16号のバス乗降場所の配置については、利用者の動きを継続的に確認していくことが望ましい。</p>					
4. 特記事項（今後の方針等）					
<p>今後は、地元町内会や商店会等で組織する「金沢八景まちづくり委員会」が主体となって、「建築物等のデザインガイドライン」の運用による調和の取れた良好なまちなみ形成や、高架下広場などを使ったイベント実施等による賑わい創出を進める。</p>					